

経営比較分析表（令和3年度決算）

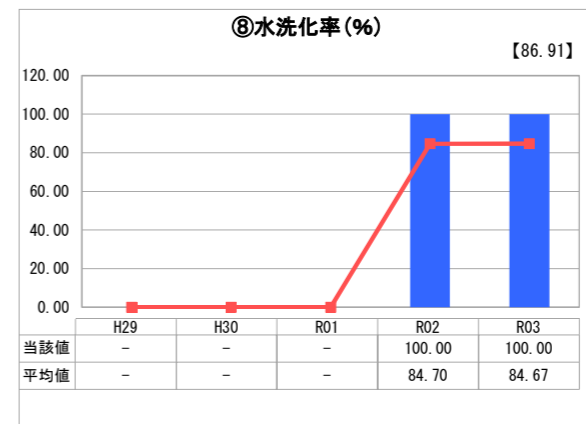
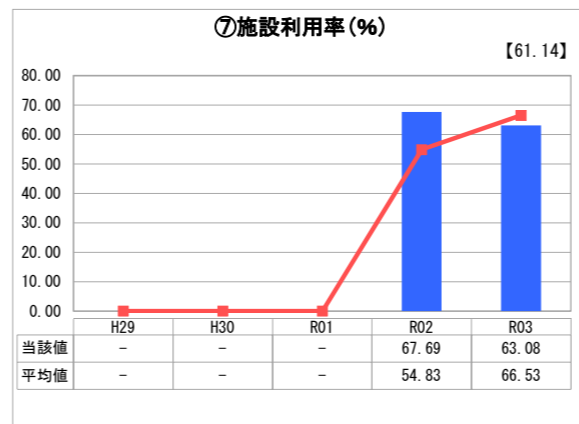
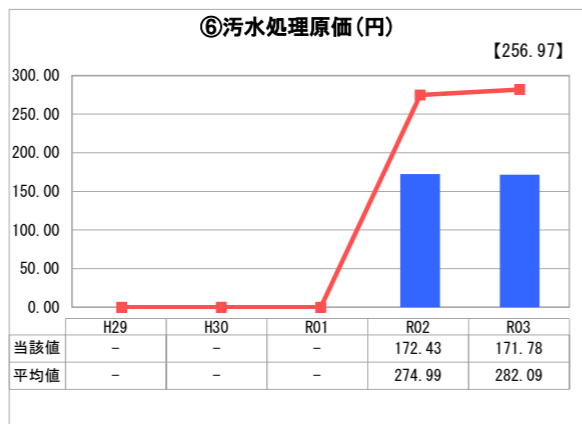
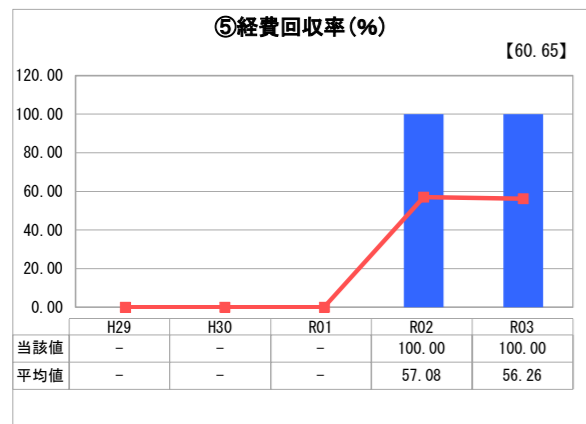
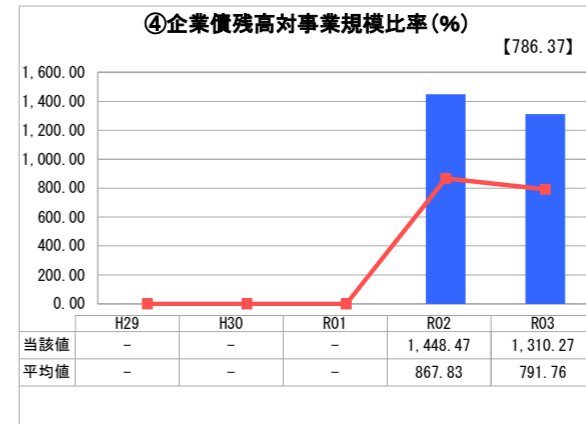
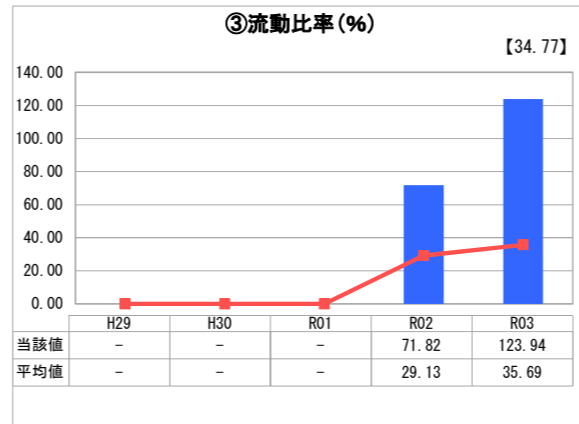
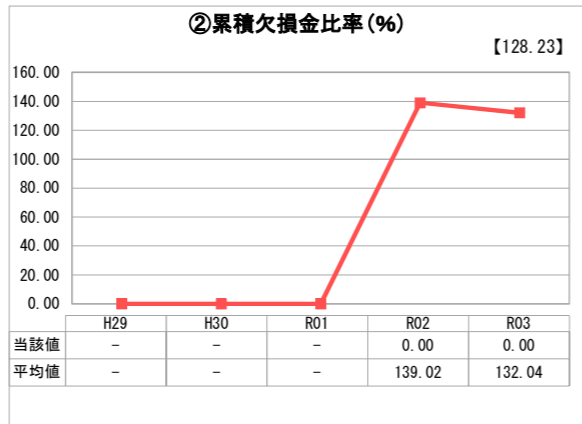
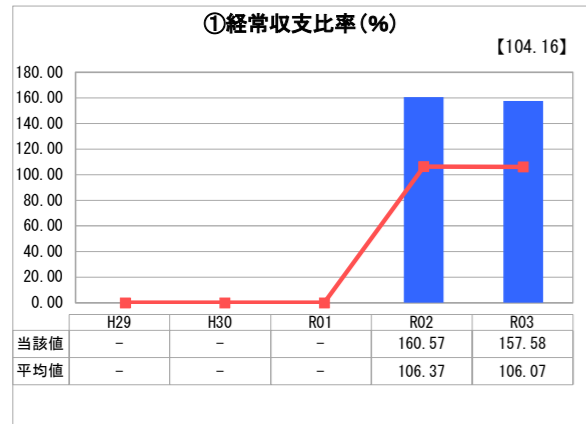
静岡県 富士宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.23	0.09	105.26	3,630

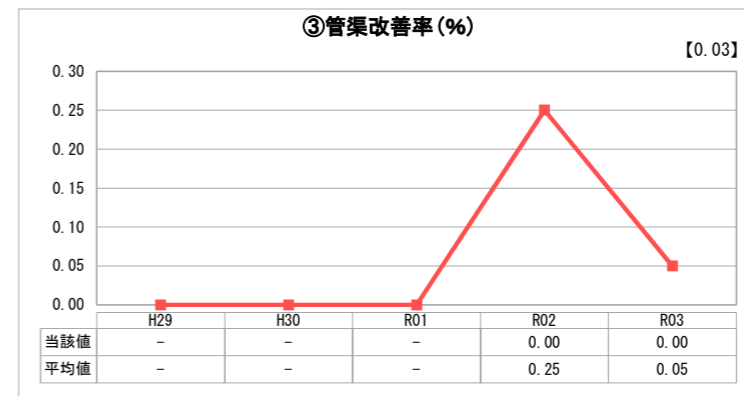
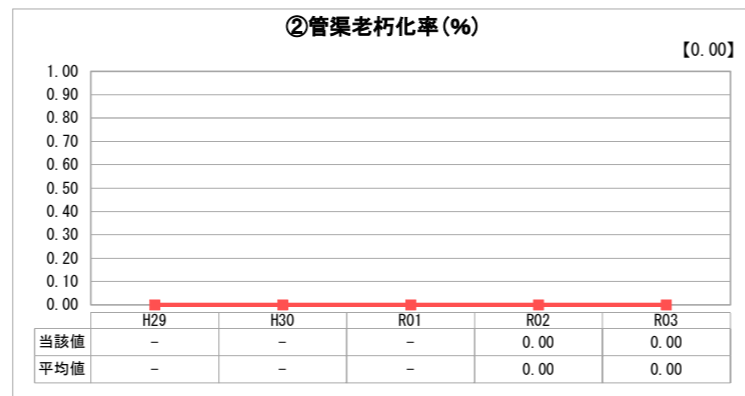
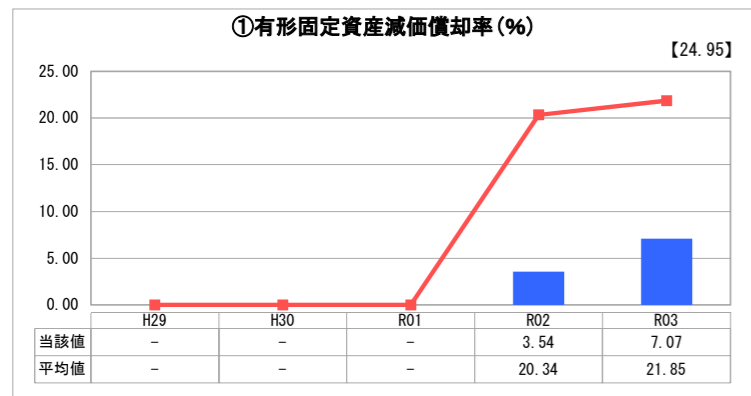
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
130,153	389.08	334.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
123	0.11	1,118.18

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
単年度収支が黒字である100%を上回っています。経費回収率も100%であることから、使用料以外の収入に依存しておらず、良好であると言えます。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金が生じていないため、0.00%です。
- ③ 流動比率
100%を上回っており、今後も現金預金の増加に伴って流動資産の増加が見込まれるため、比率は高くなる見込みです。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
全国平均及び類似団体平均値を上回っていますが、今後は企業債の償還とともに企業債残高が減少していくため、比率は低くなる見込みです。
- ⑤ 経費回収率
100%となっており、使用料で回収すべき経費を使用料収入で賄えています。今後は人口の減少に伴う使用料収入の減少が見込まれますが、引き続き薬品費などの流動費の削減に努め、汚水処理費を抑制していきます。
- ⑥ 汚水処理原価
全国平均及び類似団体平均値を大幅に下回っており、今後も引き続き汚水処理費の抑制に努めていきます。
- ⑦ 施設利用率
全国平均及び類似団体平均値を下回っており、今後は利用人口減少に伴って低下が見込まれるため、適切な施設規模の検討が必要となります。
- ⑧ 水洗化率
100%となっており、今後もこの水準を維持していきます。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
令和2年度より公営企業会計を適用しているため、全国平均及び類似団体平均値を大きく下回っています。今後は「最適整備構想」などの既存の計画に基づき、設備などの更新を適切に実施していきます。
- ② 管渠老朽化比率
法定耐用年数を迎えた管渠がないため、0.00%となっています。しばらくこの傾向が続くため、適切な維持管理を実施していきます。
- ③ 管渠改善率
当年度に更新した管渠がないため、0.00%となっています。管渠が法定耐用年数を迎えるのはしばらく先となるため、適切な維持管理を実施していきます。

全体総括

全国平均及び類似団体平均値と比較して、経営の健全性・効率性は良好であると言えます。今後は、人口減少に伴う使用料収入の減少が見込まれますが、使用料水準は高い状況であり、引き続き汚水処理原価の削減に取り組んでいきます。施設の老朽化も進んでいくため、適切な施設の維持管理とともに、既存の計画に基づく設備の更新を適切に実施していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。